

第21回全日本フルコンタクトテコンド-選手権大会要項

【1】名称

第21回全日本フルコンタクトテコンド-選手権大会

【2】主催

日本テコンド-協会

【3】後援

東京都、G B R

【4】目的

- 1, 日本におけるフルコンタクト・テコンド-の普及・発展を通じて、日本国民、在留外国人の健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。とりわけ健全なる青年および青少年育成に貢献する。
- 2, 日本で一番強いテコンド-家=無差別級王者をフルコンタクト・テコンドー・ル-ルで決定する。
- 3, 本試合とその練習過程を通じ、フルコンタクト系武道界における相対的な競技力向上をはかる。
「フルコンタクト系空手に勝とも劣らないフルコンタクト・テコンド-」を目指す。

【5】開催日時

2010(平成22)年11月28日(日) 16:45開演

【6】開催場所

後楽園ホ-ル

東京都文京区後楽1-3東京ド-ム・シティ-内 TEL(03)3817-6092

J R 総武線・都営三田線 「水道橋駅」 徒歩3分

地下鉄 丸の内線・南北線「後楽園駅」 徒歩2分、 有料駐車場有り

【7】出場資格

1, 出場枠

男子無差別級組手は、16名前後とする。

女子無差別級組手は、8名以下とする。

蹴武の型(男女混合)は、16名前後とする。

少年少女部蹴武の型(男女混合)は、8名以下とする。

2, 出場資格

男子無差別級組手は、18歳以上の全日本大会選抜者基準を満たしたJ T A有段者

女子無差別級組手は、高校生以上の全日本大会選抜者基準を満たしたJ T A有段者

蹴武の型(男女混合)は、全日本大会選抜者基準を満たしたJ T A有段者。年齢制限無し。

少年少女部蹴武の型(男女混合)は、全日本大会選抜者基準を満たし選抜されたJ T A有段者。

なお、同種目は、今回初めて実施されるため年齢上限の特例をもうける。

少年少女部に4年以上在籍した16歳以下の者も参加できるものとする。

3, 選抜者の基準

優先出場順位第1位

前年度全日本F T選手権大会の入賞者(男子1位~4位、女子1位~2位、型1位~4位)

優先出場順位第2位

本年度全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場選手選考会(以下、「予選会」と称す)の関東大会、神奈川大会、中国大会、四国大会、中部大会、九州大会、東京大会、関西大会、全日本学生大会の一部組手および一部蹴武の型試合の優勝者

優先出場順位第3位

本年度「予選会」の男子組手一部無差別級準優勝者。

優先出場順位第4位

都道府県初のJTA加盟クラブを創設した「JTA都道府県パイオニア」に対する推薦。
但し、「予選会」に出場していなければならない。

本推薦は全日本FT大会出場経験を指導に生かし、当該クラブの活性化をはかることを目的とする。

優先出場順位第5位（準選抜者）

イ、JTA加盟・都道府県連の役員・実行委員に対する推薦。

都道府県におけるフルコンタクトテコンドー普及のパイオニアではないが、
新規もしきは既存のJTAクラブの長・責任者・監督・コーチ・主将その他幹部となり、
その職務を全うした者。但し、「予選会」に出場していなければならない。

ロ、社会人選手推薦。

社会人の最終予選会である関西大会の組手一部または蹴武型一部に出場した者で
所属クラブの運営上、指導補助や運営等での活躍を期待できる者。

ハ、大学生・専門学校生推薦。

学生の最終予選会である全日本学生大会の組手一部または蹴武型一部に出場した者で
所属体育会・同好会の運営において尽力努力した者または次年度に活躍を期待できる者。

【8】試合種目・表彰

一、無差別級フルコンタクト・テコンドー組手試合（ト・ナメント戦）

1、男子組手試合

優勝 トロフィー、大メダル、大賞状

準優勝 トロフィー、大メダル、大賞状

3位 大メダル、大賞状

2、女子組手試合

優勝 トロフィー、大メダル、大賞状

準優勝 大メダル、大賞状

<注意 女性部は参加人数等の変動により、2位を表彰しない場合もある>

二、蹴武の型試合（男女混合）

1、一般型

優勝 トロフィー、大メダル、大賞状

準優勝 大メダル、大賞状

3位 大メダル、大賞状

2、少年少女部型

優勝 大メダル、大賞状

三、最優秀選手賞

1名

1、ITA木不 特注大カップに歴代男女優勝選手の氏名を刻印する。

次回大会まで優勝選手が保管し、次大会開会式で返却する。

2、最優秀選手賞状

3、東京都知事賞・最優秀選手賞賞状

4、GBR賞・楯

四、蹴美宗師範賞 奨学金30万円（上限）

1名

本奨学金はJTAの理想＝華麗で美しく威力のある蹴りを主とする優れた蹴美の選手を表彰するための
ものである。組手および型の両方に出場し、両種目において秀でた成績を残した優秀な選手に与える。

基準

組手+型両種目優勝	当確	奨学金30万円
組手優勝+型2位または型優勝+組手2位	ほぼ当確	奨学金20万円以内
組手優勝+型3位	組手試合の内容による	奨学金10万円以内

五、次年度、全日本フルコンタクトテコンドー大会シード権

男子組手「ベスト4」、女子組手「ベスト2」、蹴武の型「ベスト4」入賞者に対し、
2011年11月27日(日)午後5時 後楽園ホール開催、
第22回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会の出場権を与える。

六、蹴美新人賞

大賞状 1枚

全日本大会初出場選手の中、最も優れた新人選手1名を表彰する。但し、該当者がいない場合もある。

【9】試合ルール

一、男女無差別級組手試合

1、JTAフルコンタクト・テコンドー・ルール

(技有り・一本勝ち、蹴美7will、勝者負傷の場合限定の敗者復活戦、最高審判長審議等)

2、試合時間

1～2回戦 本戦2分1R。 延長戦2分(1R迄)
但し、準選抜者同士の1回戦は本戦・延長戦いずれも1分とする。
準決勝戦 本戦2分1R。 延長戦2分(2R迄)
3位決定戦 本戦2分1R。 延長戦2分(1R迄)
決勝戦 本戦2分1R。 延長戦2分(3R以内)
その他 本戦終了後、延長戦開始までの休憩は1分とする。

3、防具の着用、テピング、コンタクト・レンズの禁止など

ヘッドギア - (青もしくは赤)

女性選手は、面付き防具を必ず着用しなければならない。

男性選手は、選手の希望によりはずすことができる。申請書に明記すること。

手・足のテコンド - 防具(青もしくは赤)を着用しなければならない。

写真撮影上、防具が壊れていたり、テープで補強(とくに色違いのテープ)してはならない。

安全上マウスピースを着用しなければならない。

男子は、ファールカップを必ず着用(道衣の中)しなければならない。

手のバンテ - ジや蹴り・突きの威力を増すための防具の着用は禁止する。発覚次第、失格。

上記以外の防具(スネ・膝・肘などのサポ - タ -)の着用やテピングなどは、

事前に大会主催者に届け出、医務関係者の許可・検印を受けなければならない。

試合で着用した防具、テピング、包帯などは、体重判定の際、外すことはできない。

試合中、コンタクト・レンズがはずれても中断しない。万一、中断した場合、減点2とする。

その他は、必要に応じて主催者が定め選手に通知する。

4、組手審判

主審1名、副審2名、蹴美審判2名の5名とする。

最高審判長・河明生は、上記審判の判定に対し、最高審判長審議を請求できる。

準決勝戦および決勝戦に直属の弟子(独立した者は除く)が進出した場合、該当審判は交代する。

二、蹴武の型試合

1、決勝戦進出者選抜

選手は、Aブロック、Bブロック、Cブロック、Dブロックの4ブロックにわたる。

本年度「蹴武の型ベスト4」の選手は、シードとし、別ブロックに配置する。

ブロック毎に1名づつリング上で謙信、清衡、義家、柳韓の中、自由選択した蹴武の型を一つ行う。
Aブロック、Bブロック、Cブロック、Dブロックのブロック勝者1名を決定する。

2, 決勝戦

ブロック勝者4名は決勝戦を行う。

1名づつリング上で指定型・忠武を実演し、順位を決定する。

3, 蹴武型審判

妹尾将吾、武田敬之、盛島一盛の3名とする。

最高審判長・河明生は、上記審判の判定に対し、最高審判長審議を請求できる。

決勝戦に直属の弟子(独立した者は除く)が進出した場合、該当審判は小川浩平と交代する。

また、上記の3名の審判中、2名の審判の弟子が決勝戦に進出した場合、2名とも審判をはずし、河明生が審判を兼任するものとする。

三、少年少女部蹴武の型試合

選抜された選手は、自由選択した型を実演し、初代少年少女部蹴武型チャンピオンを決定する。

上位2名の型が甲乙付けがたいと審判が判断した場合、その場で当該上位2名の再決勝戦を行う。

その場合、自由選択した型以外の蹴武型を実演しなければならない。

審判については上記「二の3」に準ずる。

四、セコンド

セコンドは、JTA現役会員に限る。

3名以内とする。

禁止事項

私服は禁じる。セコンドにふさわしい服装を義務づける。

元会員やOBは不可。

【10】ド - ピング検査

1、選抜された選手は、ド - ピング検査に協力し、拒否することはできない。

ド - ピング検査に協力しない場合、その時点で失格とし、予備出場枠選手を出場させる。

2、万一、試合終了後のド - ピング検査により、陽性反応が出た場合、全試合を失格とする。

その場合、順位を繰り上げる。それによって生じた順位の調整は主催者が定める。

3、万一、ド - ピング検査陽性反応が出た場合、氏名と所属を公表し、今後の大会に出場させない。

それがJTA所属選手の場合、除名し、永久追放とする。

【11】大会出場申込書類・申し込み締め切り

1, 必要書類等

1) 大会出場申込書(含む誓約書・ド - ピング検査許諾書)

1通

2) セコンド登録および全日本大会記念親睦会申し込み書

1通

3) 正装写真(5cm * 5cm、裏に氏名明記。3ヶ月以内撮影、画質の良いデジカメ写真可)

1枚

4) 簡易健康証明書

1通

(様式随意。コピー可。学校、企業、官公庁などでの健康診断の結果を記載したものでも可)

5) 参加費用振り込み控え(コピー可)

注意 入場テーマ曲は、音響責任者が決定するので不要です。

**第 2 1 回全日本フルコンタクト・テコンド - 選手権
大会参加申込書・誓約書・ドーピング検査許諾書**

大会会長 河 明生殿

私は、下記の事項を誓約し、許諾し、全日本大会への出場を申し込みます。

- 1、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。
- 2、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、手による顔面強打は、絶対行いません。
万一、自己の手による顔面強打により、相手方が負傷し、その治療費が保険金で賄えない場合（たとえば、歯の骨折など）治療費の実費を相手方に弁償します。
- 3、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。
万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。
- 4、私は、「フルコンタクト・テコンド - は、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、自らの意志により本大会への参加を希望します。
それゆえ試合において如何なる事故が生じても、自己の責任として処理し、本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓約します。
- 5、試合により「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。
民事訴訟などにより、大会主催者およびその関係者に対して民事上の責任を問いません。
死亡 5 千万円、後遺障害（失明など）5 千万円、入院 1 日 6 千円、通院 1 日 4 千円
- 6、私は、所属クラブを通じて「スポ - ツ安全協会スポ - ツ安全保険」に加入しています。
- 7、尿や血液採取など如何なるド - ピング検査にも全面的に協力し、異議を申し立てません。
陽性反応が出た場合、氏名・所属団体の公表など定められた罰則に従います。
- 8、選抜された場合、かならず貴大会に出場します。正当な理由無く欠場した場合、反則金 1 0 万円を支払います。
- 9、本全日本大会のテレビなどの放映権、試合を記録した文章や写真などを利用した書籍、雑誌、ビデオなどの著作権や肖像権などの諸権利は、すべて J T A に帰属することに同意し、誓約します。
一本負け等のシーンを G B R 等でのインターネットや D V D 等を通じて公に配信することに同意し、繰り返し放映させることに対し、配信停止要求や精神的慰謝料等を請求しないことを誓約します。
上記に一つでも違背した場合、大会主催者の定めた規程および罰則を遵守し、異議を申し立てません。

年 月 日

申請者 住所 _____

(ふりがな)

氏名 _____ 印 _____ 現段 _____ 段

生年月日（西暦） _____ 年 月 日生（ _____ 歳）

身長 _____ C m、 体重 _____ K g 血液型 _____ 型 *必ず記入

所属 _____ 組手・得意技 _____ 型・得意型 _____

出身地 _____ 都・道・府・県・外国 _____ 市・町 出身

過去の全日本大会、本年度予選会等成績（パンフレットや選手紹介時に必要）

1

2

出場種目（ 印） 組手 男子無差別級組手（ヘッドギア着用を 希望する / 希望しない）

女子無差別級組手

蹴武型 一般男女混合型（予選実演自由型 _____）*変更不可

少年少女部型（実演自由型 _____）*変更不可

第 2 1 回全日本フルコンタクト・テコンド - 選手権
セコンド登録
参加申込書

記

申請選手

印

所属

1 ,私は、下記の会員をセコンドとして登録します。

<注意 セコンドは現役会員のみ。OBは不可。メイン1名、サブ1名、合計3名迄。チケット必要>

メインセコンド氏名	所属	段・級
サブセコンド氏名	所属	段・級
サブセコンド氏名	所属	段・級

2 ,全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会
選抜者コメント&入賞者コメントおよび道衣写真

J T A本部HP上には全員、G B Rには一部の選手を掲載するので

hp@jita.jp

迄メールで速やかに送信して下さい(下記、または期日を書き込み)

1)大会前 抱負・思い・決意等の文章(10月27日迄。厳守)

送信しました

10月 日迄送信します

2)大会後 入賞者の感想(12月1日迄。厳守)

了解しました

3)J T A黒帯道衣着用デジタルカメラ写真(10月27日迄。厳守)

組手出場選手の写真1ポーズ ファイティングポーズ、蹴り、平行立ち+臥龍の構え

型出場選手の写真1ポーズ 半後屈立ち+七龍の構え、蹴り、平行立ち+臥龍の構え

送信しました

10月 日迄送信します